



たからぎ通信 秋号



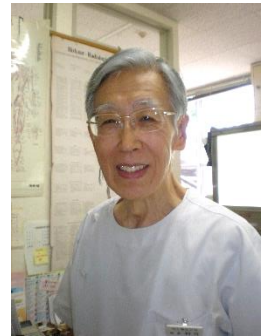
村井クリニック
院長 村井邦彦

院長コラム

「45年の感謝を込めてークリニック新築のご案内」

当クリニックの歴史は、1978年8月に先代の村井俊彦が19床の「村井整形外科」として開院したことに始まります。当時はまだ医療機関が少ない時代でしたので、救急、整形外科外来、入院、リハビリなどを提供する貴重な医療施設として地域の皆様に「村井さん」の愛称で親しんで頂きました。その後、医療制度の変化に伴い1999年に病床を閉めましたが、「むかしここに入院したことがあるよ」というお話を今でも多くの方に頂きます。そのように話して下さるといことは愛着や懐かしさを感じて頂いているんだなと思い感謝しています。

二代目の私が診療に関わり始めたのは2006年、非常勤でペインクリニック外来を始めた所からです。2010年には在宅医療を立ち上げ、2階の元の入院施設はペインクリニック用の診療室と在宅医療・地域連携のための部屋に改装となりました。2011年に私が院長に就任すると共に東日本大震災に見舞われ、貯水タンクが壊れ、配管が破損し、壁に亀裂が入るなど、設備に大きな被害が出ました。診療を続けながら大規模修繕を行ないましたが、その後もしばしば雨漏りや配管の破損などが続き、塗装や修繕を繰り返しました。2013年には名称を「村井クリニック」に変更しました。診療科目は整形外科、リハビリテーション、ペインクリニック、内科、訪問診療となりました。現在の村井クリニックは、総合診療、プライマリ・ケア、そして予防活動などを行う地域のかかりつけ医療機関となっています。



先代 村井俊彦先生

今回、45年前と同じ地主様一家にご縁を得て、現在のクリニックの西側に新たにクリニックを新築する運びとなりました。開院当時にお世話になった銀行様、45年間にご縁を得た銀行様にも協力頂き、さらに私たちの理念と医療機能を反映して建築設計・工事監理、建設などを担当して頂ける企業様にも恵まれました。何より、地域におけるニーズと存在意義があつてこそ新築ですので、患者様をはじめ多くの地域の皆様に支えて頂いていることに改めて感謝を申し上げたいと思います。

新しいクリニックでの診療開始は2024年の6月頃、完全な工事の終了は46周年となる8月頃を見込んでいます。建物は2階建てで、フロア面積は現在よりも広くなります。診療機能は1階に集約し、診察室や処置室へのアクセスがしやすくなるほか、リハビリ室もより広く、多機能になる予定です。現在ご迷惑をおかけしている待合スペース不足、駐車場不足の問題も解消します。

新しいクリニックでは、予約システムや問診システム、会計システム、遠隔診療システムなども最新のものを揃えて皆様の待ち時間短縮と利便性向上、診療の質の向上につなげたいと考えています。今後も多くの方に親しみを持って利用して頂けますことを願って新築のご案内とご挨拶とさせていただきます。



45年前建築時・開院式の様子



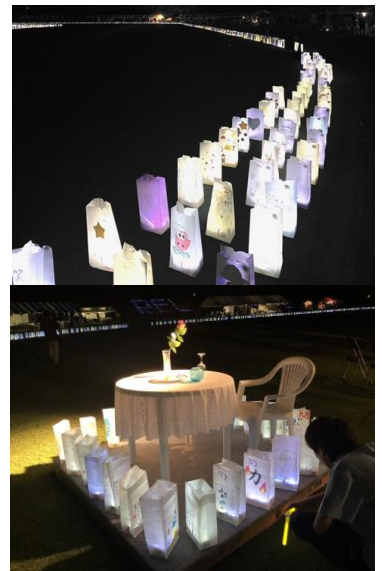
新クリニック完成予想図

特集記事 リレー・フォー・ライフ

令和5年9月2日(土)～3日(日)壬生町総合運動公園にて、リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 とちぎが現地開催されました。多くのがんサバイバーやケアギバーの方々と共に、村井クリニックもウォークリレーやルミネナリエに参加させて頂きました。

近年新型コロナウイルス流行の影響で、オンラインや半日での開催となっていました。今年、4年ぶりに24時間開催を行う事が出来ました。リレーフォーライフでは、夜を通して歩くことが推奨されています。チームの仲間とタスキをつなぎ、チームフラッグを掲げ、夜を越えて歩き、やがてチームの仲間や参加者同士で朝を迎えます。夜明けが近づいてくると、深い紫色の空(ドーンパープル)を見ることができます。この夜明けの紫はリレー・フォー・ライフのシンボルカラーであり、希望の色です。がんサバイバーはときに不安で眠れない夜を過ごしています。夜が怖く、明日がやってくるのか不安で仕方ありません。そんな時に見える、夜が明けた時の空の色が希望の色なのです。

来年開催時も多くの方々と会場でお会いできることを楽しみにしております。



連載企画 社会的処方推進委員会の地域社会資源ご紹介 Part7 ～歩いて・貯めて・使える！うつのみや健康ポイント～

今回は宇都宮市の健康づくり支援事業をご紹介します。みなさんは“うつのみや健康ポイント”をご存じでしょうか。運動や健診の受診など、健康づくりに取り組むとポイントが貯まり、貯まったポイントでサービスや特典が受けられます。お得に健康になろう！という事です☆ぜひご利用ください。

《対象者》 宇都宮市内在住の18歳以上の方

《ポイント対象となる健康づくり》



徒歩



自転車



体重



健診



適正体重

《サービスや特典について》

①貯まったポイントに応じて、クオカード、図書カード、市施設の利用権などと交換、またはプロスポーツへ寄付することができます。



②3000ポイントに到達すると、協賛企業からの提供物品がもらえる「抽選」へ参加できます。

《参加申込方法》

●スマートフォン用アプリで参加する

本事業専用のスマートフォンアプリをご自身のスマートフォンにインストールし、参加登録します。アプリで健康づくり活動の記録や管理ができ、自動でポイントが貯まります。

●活動記録票で参加する

参加申請書を市に提出し参加登録します。その後、市から活動記録票をもらい、ご自身で健康づくり活動を記録していただき、定期的に事務局へ提出していただくことでポイントが貯まります。

詳しくは宇都宮市
ホームページにて

在宅緩和ケアとちぎ 夏合宿

令和5年7月8日(土)、9日(日)に『道の駅うつのみや ろまんちっく村』にて、在宅緩和ケアとちぎ夏合宿が現地とウェブのハイブリットで開催されました。今回の講師は岩手保健医療大学教授の三浦靖彦さんをお迎えし、「在宅緩和医療に必要な臨床倫理とアドバンス・ケア・プランニングのすすめ方」というテーマでご講演頂きました。在宅緩和医療の現場では「患者さんとご家族の真意は？」「自分達の方向性は間違っていないか？」など临床上悩むことも多く、答えを得るのも簡単ではありません。参加された皆様と活発な議論を行い、有意義な時間となりました。この他にも、一般社団法人 えんがお 濱野将行さん、医療法人 創生会 真岡西部クリニック 趙達来先生、栃木県医療的ケア児等支援センター益子郁子さん、がん患者支援ネットワーク 坂本裕明さん、栄養ケア・ステーションうつのみや 間庭昭雄さん、特定医療法人 厚生会西方病院 江上聡先生、済生会宇都宮病院/栃木県立がんセンター 粕田晴之先生が講演されました。栃木県で活躍される方々の貴重なお話は、とても刺激的で明日への臨床の活力となりました。次回の合宿は来年2月に開催予定ですので、皆様のご参加をお待ちしております。



4年ぶり！村井クリニック秋の健康祭開催！！

11月18日(土)
14:00 ~ 16:00

どなたでも参加OK

健康祭

駄菓子屋など
楽しい縁日ブース☆無料
新鮮なお野菜の販売
高齢者疑似体験コーナー
お肌チェックコーナー
健康☆栄養相談・介護相談
簡易骨密度チェック など

14:30 院長講演
“健康でいるために
知っておきたいこと！”

15:00 体操教室

開催場所：
医療法人社団 宇光会
村井クリニック
宇都宮市宝木町 1-2589
☎ 028-621-1541

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、4年ぶりの健康祭を開催いたします。各団体のみな様と共に、地域のまちづくりの一環となればと思います。

【協賛】
アシストン株式会社
ウエルシア宇都宮 鶴谷町店
大塚製薬 株式会社
グループホームふれんどかぬま
ケアパートナー宇都宮南
子どものみらい応援隊
JAうつのみや 宝木出張所
株式会社ヒノキオ薬局
フルミエール アミ
ふれんど小規模多機能施設かぬま (五十音順)

【協力】
宇都宮市まちづくりセンター「まちびあ」
地域包括支援センターきよすみ
地域包括支援センター鶴谷・宝木

【協賛】
健康長寿とちぎ
応援企業

駐車場：JAうつのみや宝木出張所をお借りしています。そちらもご利用ください。
※なるべく乗り合わせの上お越しください。または公共交通機関のご利用をお願いします。
最寄りバス停留所：警察学校前

ぜひご参加ください！！



2019年秋祭りの様子

医療法人社団 宇光会
村井クリニック
宇都宮市宝木町 1-2589
☎ 028-621-1541

子ども食堂夏祭り 参加報告

毎年恒例『子どものみらい応援隊』（栃木医療生協、(社福)正恵会、村井クリニックで運営)の「夏祭りイベント」を7月22日(土)に開催しました。昨年はお持ち帰りでの提供でしたが、今年からはあげ・焼きそば・かき氷等を会場で振る舞い、賑やかな雰囲気での開催となりました。村井クリニックも院長はじめスタッフ一同楽しく参加する事が出来ました。

多くの子供達や保護者の方々が参加し、新型コロナウイルスの影響で制限されがちだった生活が少しずつ元に戻ってきているように感じました。来年も、このようなイベントを引き続き開催し、皆様と共に地域を盛り上げていければ幸いです。



新入職員紹介 看護師 平井 仁恵 (ひらい ひとえ)

令和5年4月より村井クリニックに入職し、地域連携推進室に配属となりました看護師の平井仁恵と申します。私の故郷は、千葉県市原市です。千葉県のほぼど真ん中に実家はあり、緑豊かでのどかなところで育ちました。千葉県がんセンターの脳神経外科・呼吸器外科で5年、千葉県循環器病センターの心臓血管外科・循環器内科で5年の計10年就業を経て結婚。神奈川県横浜市に移り住み、産業看護師や巡回検診など経験しました。出産と家族の転勤が重なり一時離職。乳腺科クリニックで12年就業してから今回初めて訪問診療に携わることになりました。



臨床の急性期・慢性期看護と明らかに違うところの一つとして、患者様やご家族様との距離の違いがあります。病院とは違う密接な関わり、治療ではなく生活・人生に焦点を置くということ、病院ではなく家であるということ、まさに今まで知る機会のなかった世界です。そして医療・介護制度のこと。今までは諸々の保険に関することはほぼノータッチでしたが、ここではそうはいきません。日々勉強の連続でバタバタ慌ただしく毎日が過ぎていきます。でもそれは全て自分の、そして皆様の未来に繋がること。努力し精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

新入職員紹介 看護師 吉成 加乃 (よしなり かの)

令和5年4月16日入職いたしました、看護師の吉成加乃と申します。大田原市で生まれ育ち、高校卒業後神奈川県内の看護学校に進学、卒業後も就職・結婚・子育てと34年間神奈川で過ごし、昨年大好きな栃木県に戻ってまいりました。

私が看護師を目指そうと思ったきっかけは、私が中学2年生の時に入院手術を経験したことと、幼少期からお節介で世話焼きだった私に父が看護師という職業を教えてくれたことでした。手術後の真夜中、傷の痛みにも耐え切れず勇気を出してナースコールを押すと若くて優しい看護師さんが直ぐに来て対応してくださり、その後朝までぐっすり眠れた記憶は何年経っても忘れられません。その時お世話になった方々に『私も困っている人、苦しんでいる人の役に立てる人間になりたい』と思わせて頂きました。

これまで小児科、産婦人科、内科、老人施設、訪問看護等、ライフステージに合わせ多くの経験を積み、自身も母親になったことでより一層命の重みを知ることができました。命の誕生は当たり前ではないと思っています。奇跡の命は「自分らしく生きること」が大切だと思います。

以前からやってみたいと思っていた訪問診療に携わりはじめて4か月が経ちました。まだまだ半人前です。『最期までその人らしく過ごせるよう、その人の生活に関わりながら支援する』を念頭に置き、患者様とご家族様のお役に立てるよう日々精進して参ります。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



医療法人社団 宇光会

村井クリニック

〒320-0061 栃木県宇都宮市宝木町 1-2589

TEL:028-621-1541 <http://www.murai-opc.org/>

